



豊岡市

コウノトリ悠然と舞うふるさと

豊岡市経済成長戦略のポイント

～環境都市「豊岡エコバレー」～

平成21年11月

豊岡市

地域経済の将来予測

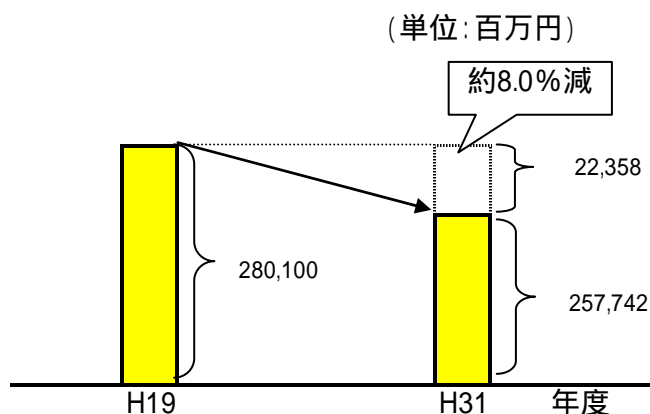
地域経済の将来は、非常に厳しい状況が予測される

このままの状況で推移すると、平成31年度には付加価値額（市内総生産）が平成19年度（2,801億円）比で少なくとも約8.0%（224億円）減。

多くの住民所得が失われ、経済がスパイラル的に縮小し、その結果、税収の減少をもたらす公共サービスを維持することができなくなる恐れがある。

（有効な取組みを行わない場合の付加価値額の将来予測）

地域経済の変化要因		付加価値誘発額（百万円）
人口減少	消費減少	18,660
人件費等	公務員人件費（公共サービス需要額含む）の減少	3,219
公共事業	公共事業の減少	479
全体効果額（減少額）		22,358



平成19年度を基準に、人口減少による地域内の購買力の減少、市の公務員数の減少、市の公共投資額の減少の3つの要因が地域経済に影響を及ぼすと想定し、付加価値額の影響額を推計した。

国・県の公共事業や人件費についても、市の場合と同様に将来の地域経済の変化要因として考えられ、当面は減少する見込みであるが、10年という長期的なスパンでみると、上振れ下振れの変化基調は不透明であることから、変化規模の設定は省略した。

経済成長戦略による経済成長

経済成長戦略を策定し、経済成長を図る

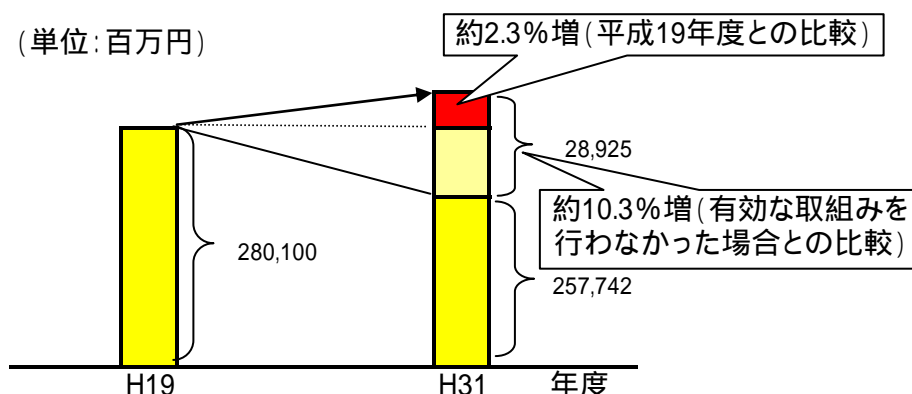
予測される厳しい状況を打開するため、豊岡市経済成長戦略を策定。

有効な取組みを行い、平成19年度の付加価値額（2,801億円）から約65億円（2.3%）増の経済成長を図る。（有効な取組みを行わなかった場合の将来予測から約10.3%増）

（有効な取組みを行った場合の付加価値額の将来予測）

有効な取組み		付加価値誘発額（百万円）
産業振興	企業誘致	7,717
	観光客の増加 （医療費・介護費の支出）	12,443
		840
構造変化	域内経済循環の向上	6,116
人材確保	域内消費の向上（UIJターンの向上）	1,809
全体効果額（増加額）		28,925

産業振興・発展の牽引役であり、豊岡市の経済の浮沈に大きく影響を与える企業誘致、観光振興や域内経済循環の向上、域内消費（UIJターン）の向上を有効な取組みとして、付加価値額の影響額を推計した。



経済成長を達成するため、4つの明確な目標を設定。

（指標と目標数値）

指標	目標数値
指標1 製造品出荷額等 （従業員数4人以上の事業所）	1,300億円以上(平成19年度比で20%以上アップ)
指標2 宿泊客数	1,700千人以上(平成19年度比で30%以上アップ)
指標3 小売販売額	1,000億円以上(平成14、19年度と同額以上)
指標4 市内高校生等の地元就職率 地元定着率	80%以上（平成21年3月末比で35%以上アップ）
	90%以上（平成17年比で14%以上アップ）

目指すべき将来像は、環境都市「豊岡エコバレー」

～若者を呼び込み、持続可能な地域経済・産業を目指す～

(エコは「エコロジー」の略称、バレーは「谷間、盆地」を意味する。)

基本戦略

「豊岡の特色を伸ばす」 強みをさらに強化し、差別化を図る！

「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」を目指すべきまちの将来像と定め、コウノトリも住める環境づくりを実践してきた。その結果、環境と経済の共鳴が生まれている。さらにそれを発展させ、エコ企業の集積にとどまらず、エコハウスの普及、地産地消やエコツーリズムの推進、バイオマスの推進などにより豊岡の特色を伸ばし、環境都市「豊岡エコバレー」を目指す。

「豊岡の課題を克服する」 弱みを認識し、解決に向けたアクションを！

域外獲得マネーを拡大する
今後、域内市場産業が縮小することが予測されることから、域外市場産業がさらに域外マネーを獲得していく。
域内経済循環を高める（域外流出マネーを縮小する）
特に製造業の場合、原材料等は市外からの供給に依存している産業であり、今後は、域内での経済循環を高める（域外流出マネーを縮小する）。

取組みの方向性

豊岡市の特色や経済・産業の個別課題を踏まえて、「産業の活性化」、「地域資源の多様な連携・活用」、「地域の魅力向上」、「人材の確保」の4項目を取組みの方向性とする。

(主な豊岡市の特色や課題を踏まえた取組みの方向性)

豊岡型環境創造型農業や環境経済型企業の集積の推進。
企業の技術力向上や新市場開拓の支援、所得を獲得する移出力の高い企業誘致が課題。

産業の活性化（地域経済を元気にするまちづくり）

豊岡型地産地消の推進。

新たな観光分野の掘り起こしや豊岡の認知度を高め集客を図ることが課題。

地域資源の多様な連携・活用（何度も訪れたいまちづくり）

自然エネルギーの利用の推進。

商店街の集客力の減退や中心市街地の空洞化に対する対策が課題。

地域の魅力向上（快適で暮らしやすいまちづくり）

地元企業が若者に知られておらず、若者が流出し、人材確保が課題。

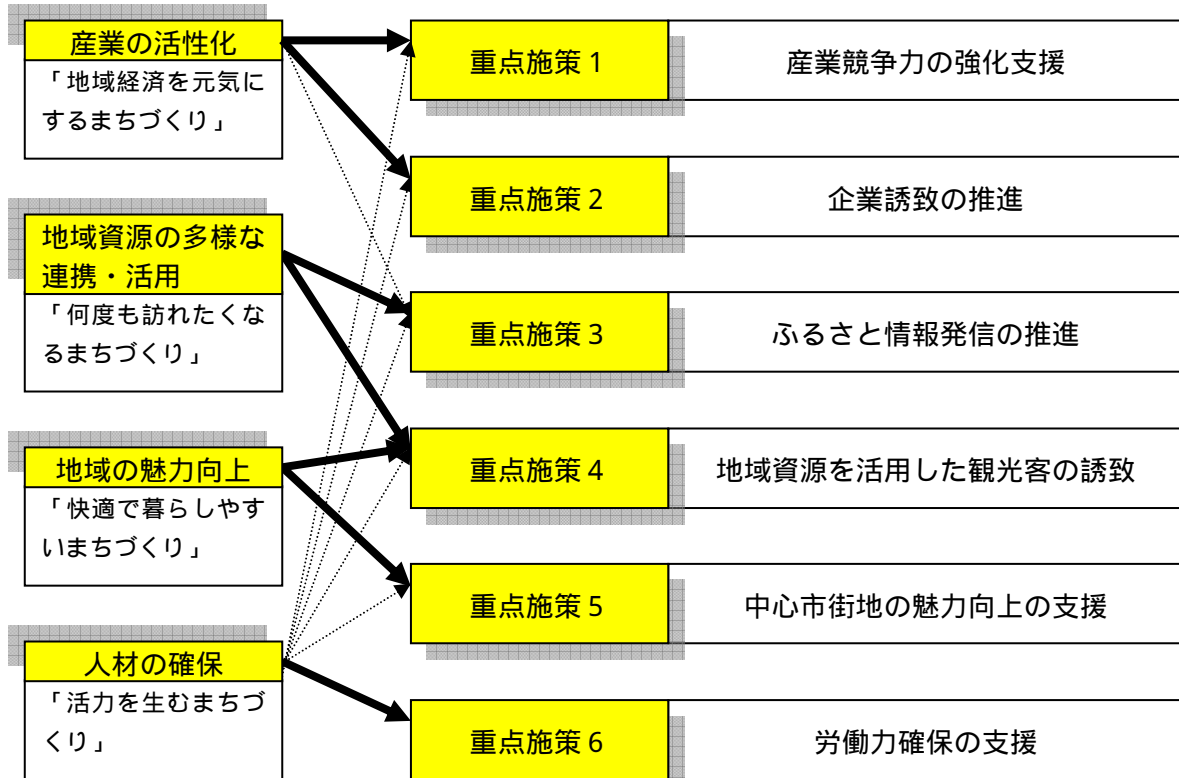
人材の確保（活力を生むまちづくり）

経済成長戦略の重点施策とプロジェクト

重点施策

取組みの方向性等を踏まえ、高い施策効果が期待できるものを6の重点施策とする。

(取組みの方向性等を踏まえた重点施策)



プロジェクト

経済成長の推進エンジンとなる 15 の戦略プロジェクトを展開する。

(5 つの検討プロジェクトは、調査研究した上で、実施の是非を判断)

(重点施策ごとのプロジェクト)

重点施策ごとの戦略(検討)プロジェクト		実施年度				
		平成21年	平成22年	平成23年	～	平成31年
重点施策1 産業競争力の強化支援						
戦略プロジェクト1	(新規)産業技術等PRによる取引拡大の支援 ・産業技術等ガイドブック作成、産業技術等ホームページ開設等		一部、調査研究			
戦略プロジェクト2	(新規)技術革新等支援補助金制度の創設 ・新技術・新製品等の研究開発支援補助金の創設 ・創業・新事業支援補助金の創設					
戦略プロジェクト3	(新規)事業承継マッチング支援 ・譲渡希望事業者と事業承継希望者とのマッチング支援					
検討プロジェクト4	(新規)産官学連携体制の構築 ・本市の直面する課題解決のための産官学連携体制の検討	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
検討プロジェクト5	(既存拡大)コウノトリ育むお米等の海外販路開拓の支援 ・海外展示会への出展、海外バイヤー招聘の検討	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
戦略プロジェクト6	(新規)環境共生型住宅の普及(一部、検討含む) ・環境共生型住宅の普及啓発、市産材の供給体制確立の検討					
重点施策2 企業誘致の推進						
戦略プロジェクト7	(既存拡大)環境経済型企業及び市内取引循環を高める企業誘致の推進 ・企業誘致のための条件整備、新たな優遇施策の検討	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
		(企業誘致は継続実施)	専属部署設置、優遇施策検討	企業誘致報酬制度創設		
重点施策3 ふるさと情報発信の推進						
戦略プロジェクト8	(新規)[仮称]ふるさと応援団の設置 ・ふるさと情報発信のための「ふるさと応援団」の設置		仕組み等の検討			
検討プロジェクト9	(新規)ふるさとアンテナショップの開設 ・全国情報発信戦略拠点となるアンテナショップの開設を検討		調査研究			
重点施策4 地域資源を活用した観光客の誘致						
戦略プロジェクト10	(既存拡大)体験型観光プログラムの拡充 ・特性を生かした体験メニューの充実と情報発信による観光客誘致	■■■■				
検討プロジェクト11	(新規)B級ご当地グルメの開発支援 ・B級グルメの開発支援、PR		調査研究			
戦略プロジェクト12	(新規)ジビエ料理(鹿肉)の開発支援 ・旅館、民宿等で提供するジビエ料理の開発支援、PR	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
検討プロジェクト13	(新規)地産地消による「健康料理」の創出支援 ・地産地消によるエコ料理、健康料理の開発支援、PR		調査研究			
戦略プロジェクト14	(既存拡大)海外教育・修学旅行の誘致促進 ・海外からの環境学習型教育旅行、体験型修学旅行の誘致促進	■■■■				
重点施策5 中心市街地の魅力向上の支援						
戦略プロジェクト15	(新規)中心市街地活性化計画の策定及び推進 ・計画を策定し、中心市街地のまちづくりを推進		■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
			計画策定	計画推進		
重点施策6 労働力確保の支援						
戦略プロジェクト16	(新規)就職フェアの開催 ・大学等卒業予定者等若年者を対象とした就職フェアの開催	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
		(先行実施)				
戦略プロジェクト17	(新規)企業ガイドブックの作成、PR ・市内企業を掲載した企業ガイドブックの作成、PR	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
		(先行実施)				
戦略プロジェクト18	(新規)学校職員の企業(工場)見学会の開催 ・市内高校職員を対象とした企業見学会の開催					
戦略プロジェクト19	(新規)インターンシップ(職場体験)の実施 ・大学生等を対象とした就業体験の実施					
戦略プロジェクト20	(新規)定住促進 ・田舎暮らし疑似体験の実施、空き家バンク設置等	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
		(態勢整備)				

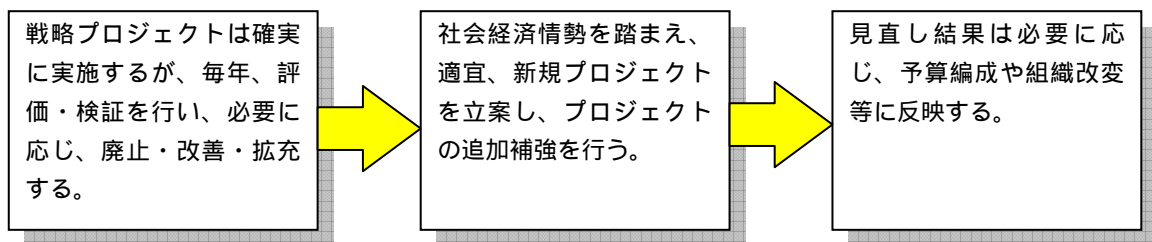
経済成長戦略の進行管理と推進体制

戦略プロジェクトは、随時、見直しをする

戦略は毎年フォローアップを行い、見直し充実を図る。

「豊岡市経済成長戦略会議」で経済成長戦略の進行管理を行い、「豊岡市事務事業評価」で各プロジェクトの効果を評価・検証する。その評価結果に基づき、「豊岡市経済成長戦略会議」で見直し等（廃止・改善・拡充・追加）を行う。なお、見直し結果は必要に応じ、予算編成や組織改変等に反映する。

（展開と見直しの手順）



推進体制

戦略プロジェクトは官民パートナーシップのもと押し進める。

戦略プロジェクトは、市担当課が単独で取り組むだけでなく、市関係課や関係機関・団体が連携しながら推進する。また、プロジェクトの中には、豊岡市は支援に回り、民間が実施主体となって取り組むものもあり、官民パートナーシップのもと押し進めていく。

お問い合わせは

豊岡市 経済部 経済振興課 経済政策係

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号

TEL . 0796 - 21 - 9002

FAX . 0796 - 22 - 3872

E-mail : keizai@city.toyooka.lg.jp